

# 五十鈴の風

平成22年7月発行  
発行：市立伊勢総合病院

## 安心していただける医療を

- 院内各科紹介・・・・・・・・・・・・・ 麻酔科
- 健康メモ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 前立腺肥大症について
- いきいき健康体操・・・・・・・・・・・・・ 第4回【イスに座ってできる体操②】
- 看護部シリーズ・・・・・・・・・・・・・ 療養型病棟
- 院内部署シリーズ・・・・・・・・・・・・・ 臨床検査室
- 栄養管理課だより・・・・・・・・・・・・・ 鶏肉のパイナップル煮
- 院内トピックス・・・・・・・・・・・・・ 市民公開講座を開催しました  
ボランティアさんに感謝状を贈呈  
第6回 病院まつりを開催します



「紫陽花と昆虫」 小坂 良（内科）撮影

### 事務局だより

皆様から「五十鈴の風」の表紙を飾る写真を募集しています。広報図書委員会事務局（総務課 中村）までお願いします。

### 市立伊勢総合病院 の 基 本 理 念

患者様の立場より 愛情と責任を持ち、安全で安心していただける医療  
病院機能の立場より 良質かつ高度の医療  
地域医療の立場より 円滑かつ密な機能分担、合理的かつ効率的な医療



麻酔科は、伊勢病院に開設されたのは平成6年です。全国的に麻酔科医の不足が言われていますが、開設当時は一人であった常勤医師が、現在は3名となり、嘱託医を含めて総勢4名の麻酔の専門医が手術室での麻酔を担当し、全身管理に全力を尽くしています。「安全な麻酔のための施設、設備が完備している病院」「麻酔に関する適当な指導者のいる病院」といった条件をクリアして日本麻酔科学会の麻酔科認定病院となっています。

麻酔は、手術による痛みや苦痛といったストレスや脅威から体を守り、快適さを保つ役目を果たします。麻酔薬を使って意識をなくしたり神経を麻痺させたりするので、麻酔もまた怖い存在であるといえます。ですから専門的な知識と高度な技術が必要であり、麻酔による合併症ができるだけ起こらないように計画と準備をするために、手術前に十分な全身の評価が必要となります。手術の前には全身の検査を行い手術に耐えられるかどうかを詳しく調べますが、麻酔に関しても診察を行います。これが麻酔前診察と呼ばれるもので、週2回、月・水の午前中に麻酔科外来にて行っています。受診の際には、現在の体調や過去の病気の情報、内服中の薬などについてお聞きし、十分な診察を行って実際の麻酔の計画と準備をします。麻酔に関する質問などもその際に受けています。

また、手術時の麻酔以外に、緩和ケアにおけるがんの痛みの治療も担当しています。ここ10年でのがんの痛みの緩和は格段に進歩しました。お困りの方がおられましたら、ぜひ声をかけてください。

(麻酔科 科長 松原 貴子)

## 健康メモ

# 前立腺肥大症について

前立腺は男性特有の臓器であり精液の一部を作っています。膀胱の下から尿道を取り囲むように存在しており代表的な疾患として前立腺肥大症、前立腺癌があります。今回は前立腺肥大症についてお話いたします。前立腺肥大症は50歳以上の中高年男性に見られる一般的な疾患であり、原因は男性ホルモンの関与など様々な説がありますが現在のところはっきりしていません。

前立腺が肥大することでおしっこがでにくい(排尿困難)、した後も残っている感じ(残尿感)、トイレの回数が多い(頻尿)など様々な症状を呈します。まれに排尿困難が持続して膀胱が充満しその影響が腎臓までおよび(水腎症)腎不全の状態になる事もあります。

診断は問診をもとにエコー、直腸診などで前立腺の状態を評価し前立腺癌のチェックのため前立腺腫瘍マーカーのPSAの採血等を行います。

治療は症状に応じて様々です。代表的な治療法は薬物療法、手術療法です。薬物療法の代表的なものは $\alpha$ 1ブロッカーという薬剤で前立腺部の尿道を拡張し、膀胱への刺激を和らげて排尿状態を改善します。その他にはホルモン剤、生薬、漢方薬などがあります。一方手術療法の代表的な治療法は尿道から内視鏡を入れて前立腺を削る経尿道的前立腺切除術(TUR-P)です。当院では以前からTURisという生理食塩水を還流液に用いる装置を導入し術中の合併症の減少に努めております。また4月よりTURis-Vという蒸散式の装置も導入し、限られた症例ですが出血などのリスクも大幅に減らせる事になりました。

おしっこの症状となるとどうしても場所が場所だけに受診をためらってしまいがちですが、同じ悩みを持つ患者様の数は多いですから勇気を出して泌尿器科を受診してみてください。前立腺癌も含めた検査をさせていただき、受診してよかった、安心できたと思っただけだと思います。その他にも気になることがあったら泌尿器科へ相談していただければと思っております。

(泌尿器科 医長 今村 哲也)



# いきいき健康体操

理学療法室より

## 第4回【イスに座ってできる体操②】

今回は、前回の続きで、イスに座ったままでできる体操を紹介します。  
食後やテレビを見ながら行なってみてください。

1

走る姿勢で腕を振る。  
最初はゆっくり、  
だんだん早く振る。



2

わき腹を伸ばしながら、  
片手ずつ手を腰から  
脇の下に持っていく。



3

足を開き、膝の間に  
おじぎをする。  
手が足首に届くくらいに。



4

手を前に組んで顔も  
いっしょに身体を  
左右にひねる。



- 現在、疾患のある方は主治医にご相談の上、運動を行なってください。
- 痛みなどがあるときは行なわないでください。
- はじめは1日に20回くらいから行ないましょう。
- 自分のペースでゆっくり行ないましょう。

(理学療法室 理学療法士 森 孝之)

## 看護部シリーズ

## 療養型病棟



生活に近づけるような環境作りに心がけ、患者さんの持てる力を引き出せるような看護、介護を提供しております。

今後も、患者さんがその人らしい暮らしができるよう、気持ちに寄り添いながら笑顔で支援させていただきます。

(5東病棟 看護師長 岡 やよい)



病院で診察を受けた時「頭が痛い」「体がだるい」「熱がある」など症状を訴えると、医師は「〇〇の検査をしてみましょう」と、訴えた症状の原因を探るために該当する検査項目を指示します。これが臨床検査です。検査値には症状によって変動する数値があります。医師は検査から得られた値を参考に、患者さんの病気を診断し、治療方針を決定します。つまり臨床検査は治療の入り口であり病気の経過観察、治療効果の判定などに関わっています。

臨床検査室の業務としては、血液や尿、便などの検体から成分や性状を調べる検体検査、手術時や外来診察室で採取された臓器の組織を調べる病理組織検査、心電図や脳波、超音波検査、聴力・眼底写真などの生理検査の3部門に大別されます。

これらの検査を病院内で行うことにより、診察前検査、24時間対応の緊急検査、安全な輸血が可能となっています。また、糖尿病学習入院や栄養サポート（NST）などのチーム医療へ参加しています。さらに外部医療機関からの依頼検査も行っています。

「病院にとっても、患者さんにとってもなくてはならない存在でありたい」をモットーに、どの検査も専門教育を受けた臨床検査技師が担当していますので、安心して検査を受けてください。

また、睡眠時無呼吸症候群の検査を始めました。いびきや日中に強い眠気のある方は一度検査を受けることをお勧めします（耳鼻いんこう科を受診してください）。

（臨床検査室 室長 山本 博史）

栄養師おすすめメニュー



栄養管理課だより

鶏肉のパイナップル煮

鶏肉の料理にはいろいろなものがありますね。今回は、当院で人気の高い料理のひとつ『パイナップル煮』を紹介します。甘酸っぱいパイナップルの味がアクセントになっていて、身は柔らかく仕上がります。骨の旨みが出るので手羽元がベストですが、もも肉でもおいしく出来上がります。

材料(4人分)

- 鶏手羽元 ..... 12本
- パイナップルスライス(缶詰) ..... 2枚
- みりん ..... 小さじ2
- 濃口しょうゆ ..... 大さじ1強 } A



作り方(レシピ)

- ① パイナップルスライスを1/8に切る。
  - ② 鶏手羽元はザルなどに並べ、サッと熱湯をかける。
  - ③ Aの調味料、②の鶏手羽元、①のパイナップルを鍋に入れ、ひたひたに水を加えて火にかける。
  - ④ ③の煮汁が半分くらいになったら、鶏手羽元にまわしかけながら、さらに煮る。
  - ⑤ ④の煮汁が少なくなると、鶏手羽元に照りが出たら、できあがり。
- ※ ①のパイナップルはミキサーにかけて、形をなくしてもよい。

## 市民公開講座を開催しました

6月20日(日)伊勢シティプラザにおきまして、第2回目の市民公開講座が開催され、当日は、130人の市民の方々にお集まりいただきました。公開講座の第1部は「手のしびれ」と題しまして神経内科科長松本勝久より、第2部では「やさしく治すお腹のがん～小さな傷の手術(腹腔鏡手術)」と題しまして外科科長伊藤史人より講演をさせていただきました。講演後の質疑応答では、参加者の皆様から講演内容や普段から不安に思っていること等、たくさんの質疑をいただき、盛会のうちに終了しました。

次回は、11月7日(日)、「ハートプラザみその」で開催する予定でございますので、皆様お誘い合わせのうえ、是非ご参加下さい。(詳細につきましては、後日、ポスター等でお知らせします。)



## ボランティアさんに感謝状を贈呈



平成10年1月より、地域に開かれた病院・地域に支えられた病院作りの一翼を担っていただく目的で、市民の皆様ボランティア活動をお願いしています。平成22年7月現在で登録人数は12名となっています。主な活動として、車椅子でみえる方の介助や院内案内、ガーゼ折り、移動図書などをお願いしています。そんな日頃の皆様の活動に感謝の心を込めて、去る平成22年6月16日に感謝状の贈呈と食事会を開催しました。

患者さんと職員間の風通しの役目としてもその存在は大きく、今活動中の方々の益々の長いご活躍を祈念し、また新しい方のボランティア活動への参加をお待ちしています。  
(医療事務課 主幹 川面 吉弘)

## 第6回 病院まつりを開催します

来る10月31日(日)、第6回病院まつりを開催します。昨年は、新型インフルエンザの流行のため開催を中止しましたので、今年は、盛大に開催すべく、病院職員が様々な趣向を凝らした催し・イベントを計画しております。どんな催し・イベントがあるか、是非お楽しみに、皆様ご参加下さい。